

D5 深層インタラクション

アバターロボットによるモラルインタラクション技術の構築

概要

アバターロボットを利用したサービスは、将来、店員や警備員といった様々な場面での利用が期待されています。これらのサービスでは、人々の低モラルの行動を予防し、環境に安心感をもたらす役割を担っています。本発表では、アバターロボットを介して、環境に安心感をもたらす「モラルコンピューティング」に関する取り組みを紹介します。

特徴

- モラルコンピューティングの基礎知見解明に向け、「アバターロボットが訪問客のより良い振る舞いを引き出す技術」、および「アバターを操作するオペレータのより良い振る舞いを引き出す技術」の構築を進めています。
- スペインの博物館での案内ロボットや、実店舗での接客を行う店員アバターロボット、商業施設での警備員ロボットといった、複数のフィールドで実証実験を進めています。
- 実証実験で得られた知見に基づき、モラルコンピューティングに必要な基礎知見解の解明を進めています。友好的なサービスに加えてモラルコンピューティングの能力を持つロボットデザインが、顧客や店員にとってポジティブに受け入れられることが明らかになってきました。

今後の展開

- 構築したアバターロボットサービスによる実証実験を複数のフィールドで繰り返し実施していく予定です。実証実験を通じて、人々のより良い振る舞いを引き出すためのモラルコンピューティング技術の解明を進めていきます。

テーマ「万博、そしてその先へ～科学技術が描く未来～」との関連

- 人々のよりよい行動を引き出すモラルコンピューティング技術の構築を進めていきます。このモラルコンピューティング技術によって、アバターロボットの存在によって、様安心感を高めるアバター共生社会の実現を目指しています。



スペインの博物館(CosmoCaxia)での実証実験：日本との国際比較を実施



道案内を行う警備員ロボット



接客を行う店員アバターロボット

どんな帽子をおさがしですか？

連絡先：インタラクション科学研究所 担当 佐竹 聡
Email: satoru@atr.jp